

2025 年度後期 授業評価アンケートの集計結果報告

1. 調査目的「東京成徳大学学生による授業評価実施規程」第 2 条による
2. 調査対象東京成徳大学が開講する授業科目（専任、非常勤教員）のうち同規程第 3 条に定めるもの
3. 調査対象者上記調査対象科目を履修する学生
4. 調査方法本学教務システム（UNIPA）を活用した、WEB アンケート形式
5. 実施期間2025 年 12 月 22 日(月)～2026 年 1 月 20 日(火)
6. 回答結果対象者数：17,166 名 回答者数：7,950 名 回答率：46.3%

	国際	臨床	健スポ	子ども	経営	全学共通/複 数学科	合計(学部)
授業科目数	63	67	62	122	88	11	413
対象者数(履修者総数)	1,269	3,557	1,783	5,891	3,720	946	17,166
回答者数(のべ件数)	629	1,692	483	3,403	1,357	386	7,950
回答率	49.57%	47.57%	27.09%	57.77%	36.48%	40.80%	46.31%
(前年度同期)	(55.8%)	(40.4%)	(40.0%)	(46.3%)	(40.3%)	未実施	(43.9%)
前年比	-6.23pt	7.17pt	-12.91pt	11.47pt	-3.82pt	-	2.41pt

7. 質問別回答数

Q この授業について、以下の項目の内、あてはまるもの全てにチェックを入れてください。（複数回答）

項目名	肯定回答数 (のべ件数)	肯定回答率 (%)
① シラバスの内容に沿った授業が行われていた	6,583	82.8
② （教え方など）わかりやすい授業だった	5,384	67.7
③ 学生の授業参加（アクティブラーニング）を求める授業だった	5,032	63.3
④ 教員は学生の質問や疑問に対し、丁寧に対応していた	5,077	63.9
⑤ 課題の量と質は、適切だった	5,092	64.1
⑥ 授業の難易度が適切であった	4,886	61.5
⑦ 興味深い内容の授業だった	5,105	64.2
⑧ 学んだことは、今後の学習や活動に役立つ授業だった	5,338	67.1

8. 自由記述

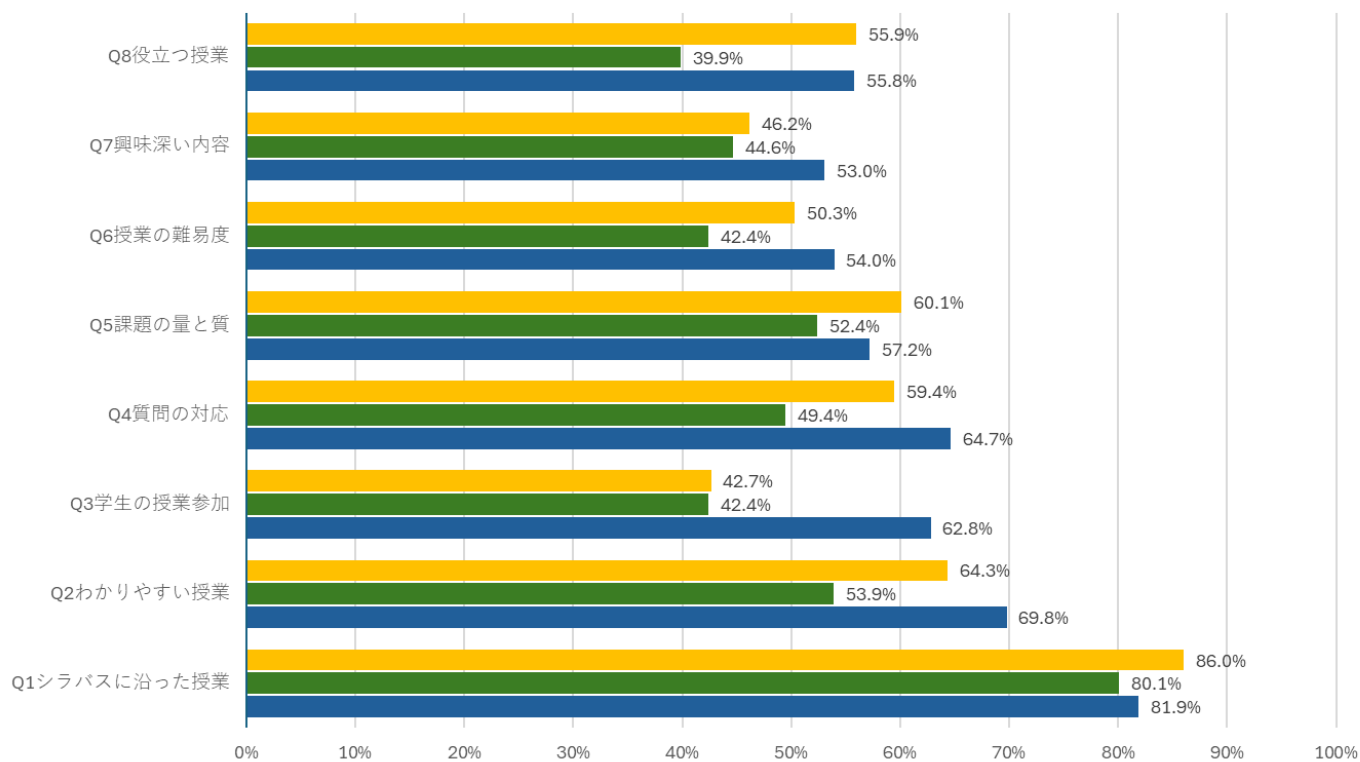
自由記述の感情分析結果（n=1013）

感情	件数
ポジティブ	677
ネガティブ	256
中立	80

番号	【ポジティブ意見】	【ネガティブ意見】
1	【授業の工夫と分かりやすさ】 動画やスライドを用いた視覚的に分かりやすい解説が好評。グループワークや実技など、座学に留まらない「飽きさせない工夫」が学習意欲を高めている。	【授業運営・指導方法の形骸化】 教科書やスライドの「棒読み」、動画を見るだけの授業が不評。進行ペースが早すぎる、資料が見えにくいなど、学生の理解度を無視した進行が散見された。
2	【教員の対応と人柄】 質問への丁寧な回答や、提出課題に対するきめ細かなフィードバックが学生の安心感と学習意欲の向上につながっている。また、肯定的な声掛けや穏やかな雰囲気も高く評価された。	【課題・評価の過度な負担と不備】 課題量に対し提出期限が短すぎる(授業内・当日締切等)点が最大の不満。評価基準が教員間で統一されておらず、不公平感や課題提出先の混乱が生じている。
3	【実践的な学びと成長実感】 教育実習や就職活動、卒論制作に直結する具体的なスキル(Excel操作等)や専門知識の習得が「ためになった」と高評価。単なる知識ではなく、現場で使える技術が身についたことで自信を得ている。	【威圧的な言動と規律欠如】 質問に対する拒絶、大声での叱責など、学生を萎縮させる高圧的態度があった。教員自身の遅刻や私語放置など、規律の緩みへの不信感も強い。

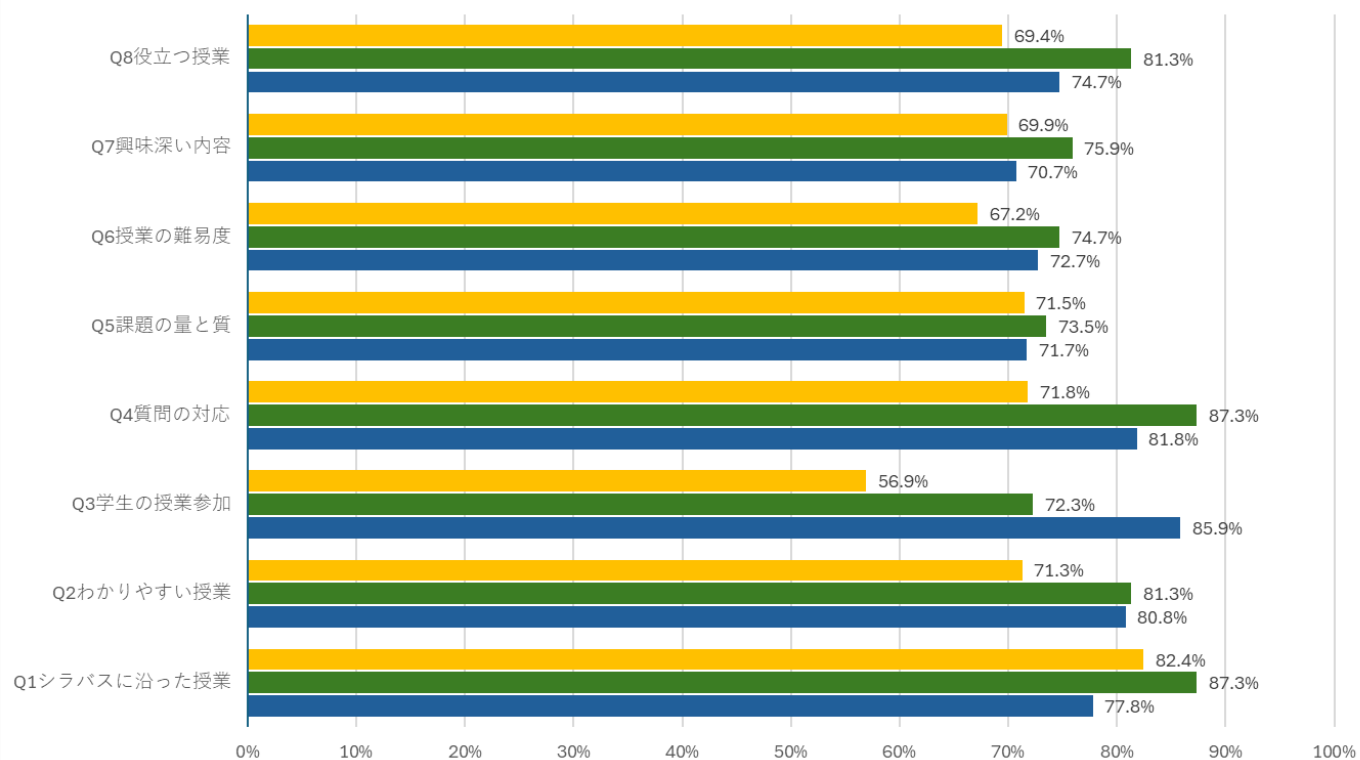
国際学科×質問×履修規模 肯定回答率

履修規模は科目の履修者数に応じて■小（20名以下） ■中（21～50名） ■大（51名以上） としている



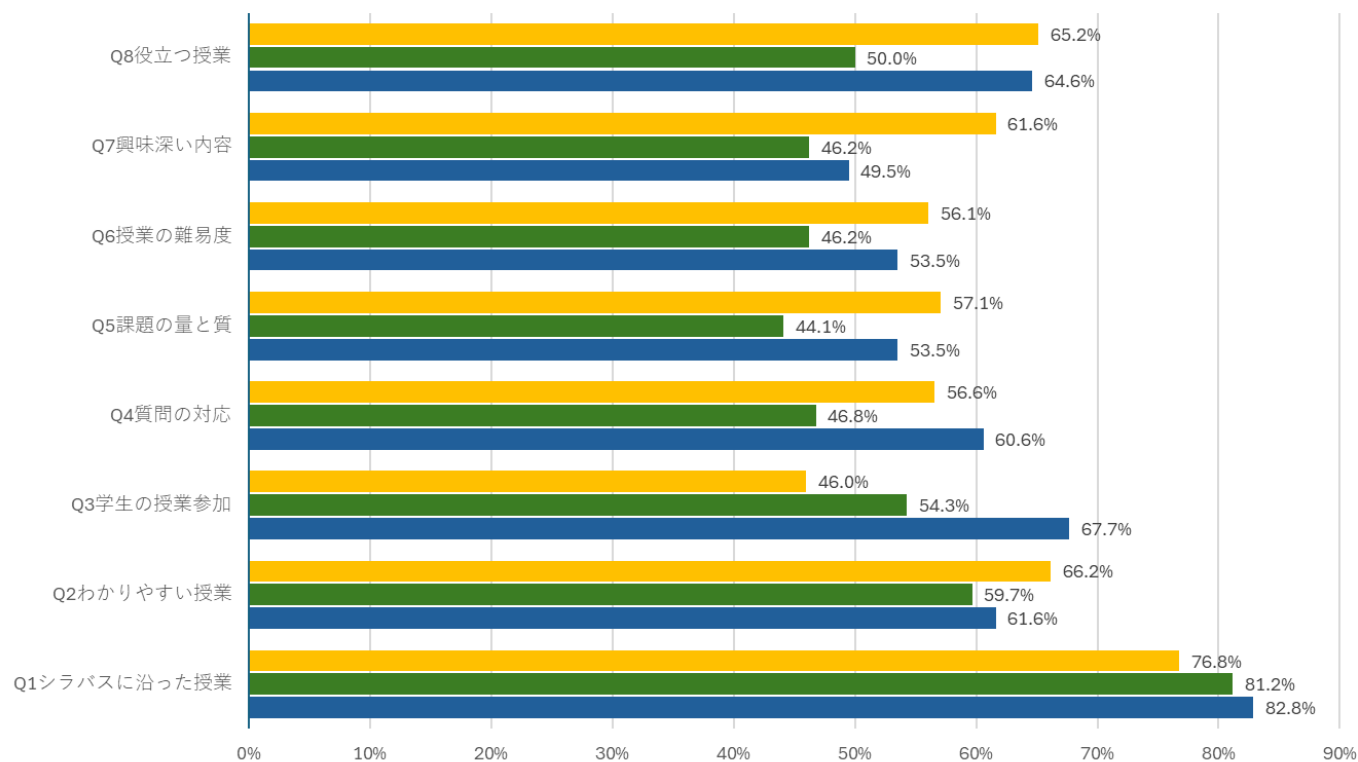
臨床学科×質問×履修規模 肯定回答率

履修規模は科目の履修者数に応じて■小（20名以下） ■中（21～50名） ■大（51名以上） としている



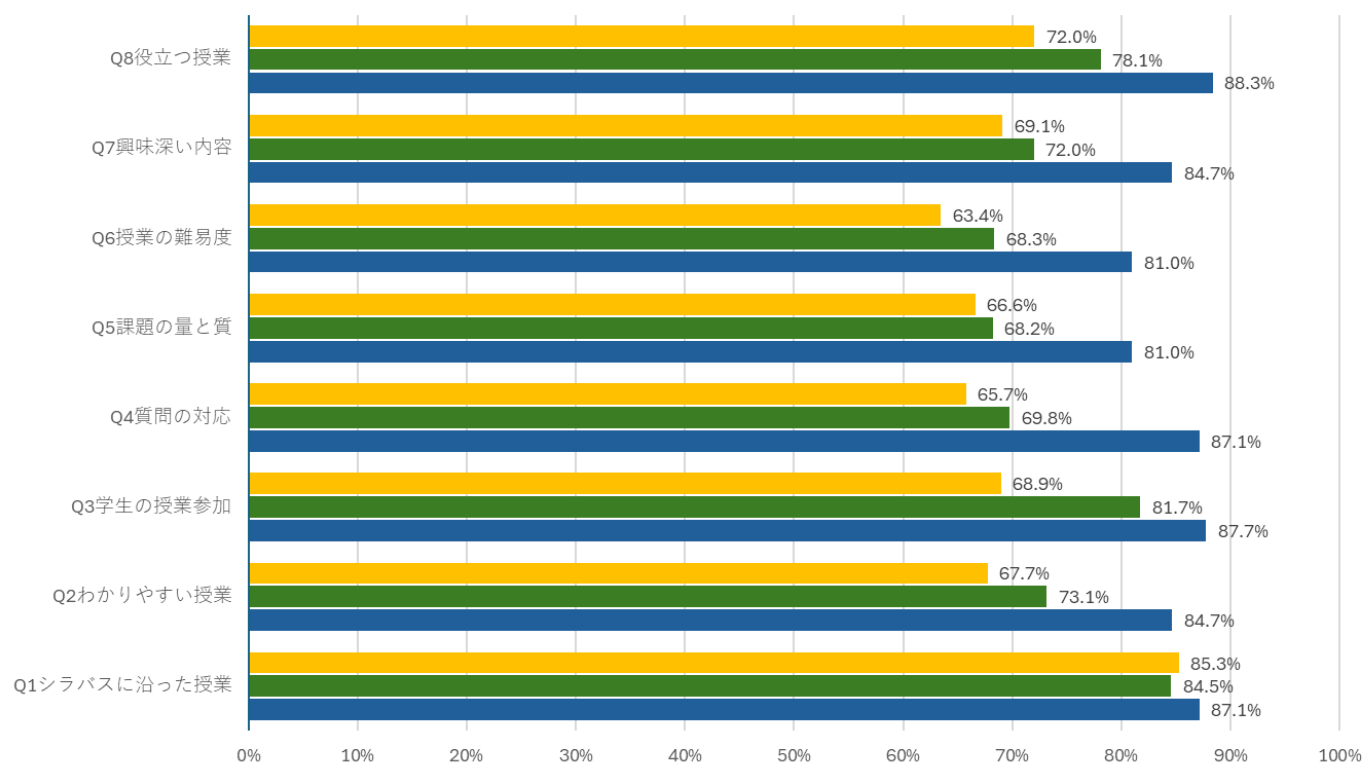
健康・スポーツ心理学科×質問×履修規模 肯定回答率

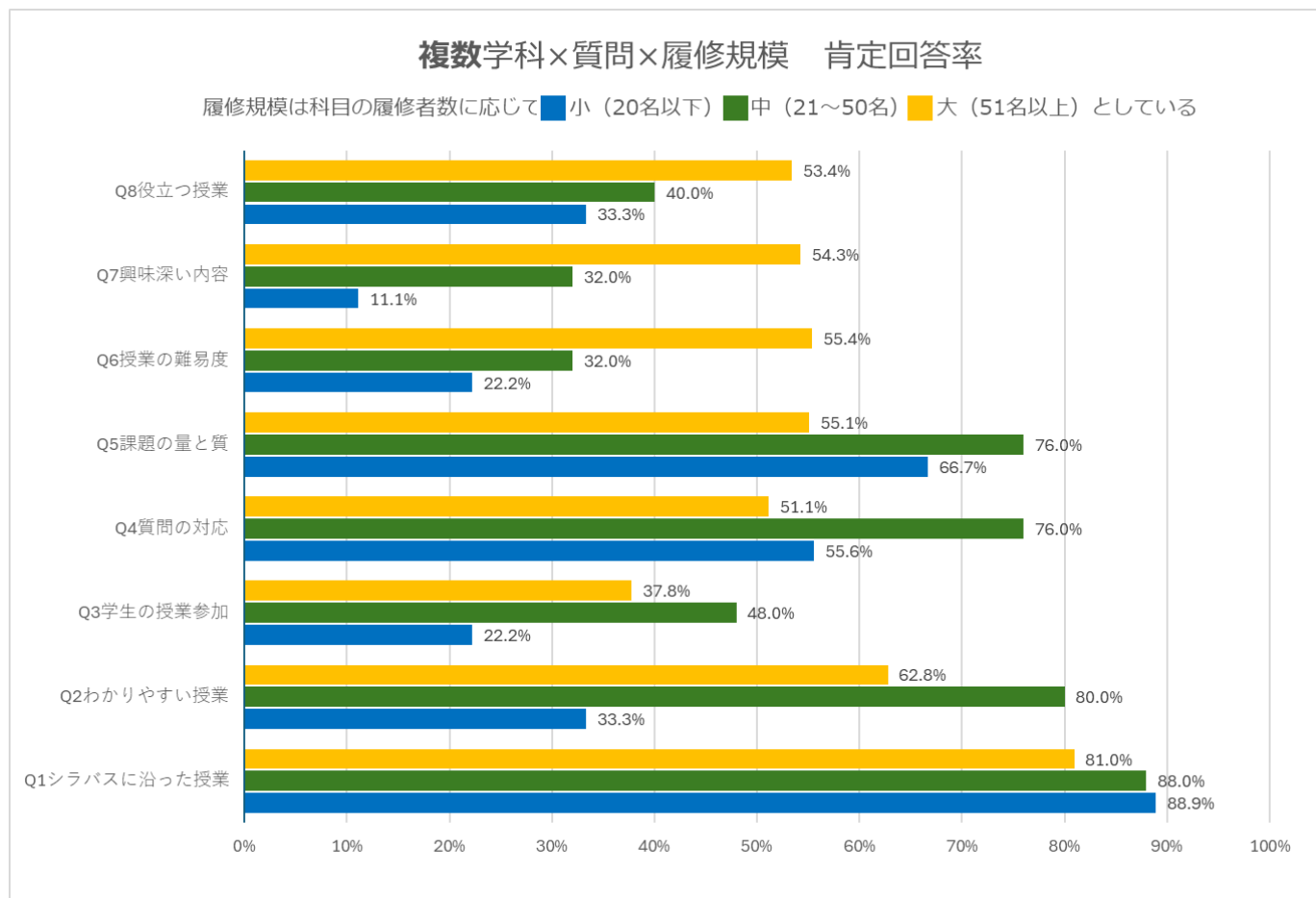
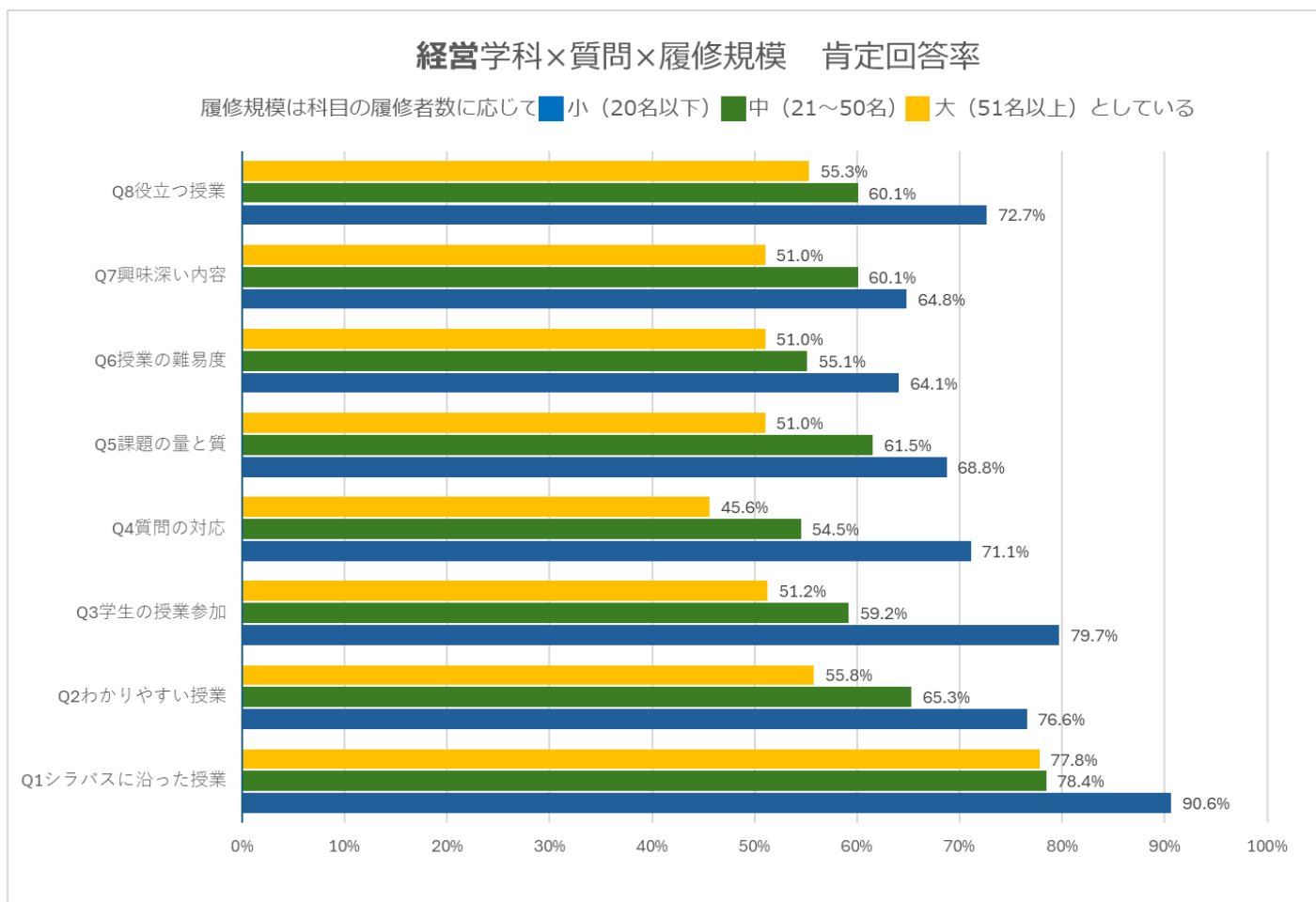
履修規模は科目の履修者数に応じて■小（20名以下）■中（21～50名）■大（51名以上）としている



子ども学科×質問×履修規模 肯定回答率

履修規模は科目の履修者数に応じて■小（20名以下）■中（21～50名）■大（51名以上）としている





学科別 肯定回答率

[授業ごとの肯定回答率を質問と履修規模別に単純平均した表] 上記グラフの元データ

質問 履修規模		国際	臨床	健スポ	子ども	経営	共通/複数	全体平均
Q1シラバスに沿った授業		82.0%	82.6%	79.7%	85.1%	79.1%	81.6%	82.8%
	小	81.9%	77.8%	82.8%	87.1%	90.6%	88.9%	84.3%
	中	80.1%	87.3%	81.2%	84.5%	78.4%	88.0%	83.0%
	大	86.0%	82.4%	76.8%	85.3%	77.8%	81.0%	82.5%
Q2わかりやすい授業		61.7%	72.8%	62.7%	70.6%	60.1%	63.2%	67.7%
	小	69.8%	80.8%	61.6%	84.7%	76.6%	33.3%	74.3%
	中	53.9%	81.3%	59.7%	73.1%	65.3%	80.0%	69.2%
	大	64.3%	71.3%	66.2%	67.7%	55.8%	62.8%	66.1%
Q3学生の授業参加		49.4%	60.1%	53.6%	74.6%	55.9%	38.1%	63.3%
	小	62.8%	85.9%	67.7%	87.7%	79.7%	22.2%	74.9%
	中	42.4%	72.3%	54.3%	81.7%	59.2%	48.0%	70.3%
	大	42.7%	56.9%	46.0%	68.9%	51.2%	37.8%	58.5%
Q4質問の対応		56.9%	73.9%	53.6%	68.3%	50.3%	52.8%	63.9%
	小	64.7%	81.8%	60.6%	87.1%	71.1%	55.6%	72.7%
	中	49.4%	87.3%	46.8%	69.8%	54.5%	76.0%	64.5%
	大	59.4%	71.8%	56.6%	65.7%	45.6%	51.1%	62.3%
Q5課題の量と質		55.8%	71.7%	51.3%	67.9%	55.3%	56.7%	64.1%
	小	57.2%	71.7%	53.5%	81.0%	68.8%	66.7%	66.3%
	中	52.4%	73.5%	44.1%	68.2%	61.5%	76.0%	63.8%
	大	60.1%	71.5%	57.1%	66.6%	51.0%	55.1%	63.8%
Q6授業の難易度		48.2%	68.3%	51.8%	66.1%	53.3%	53.1%	61.5%
	小	54.0%	72.7%	53.5%	81.0%	64.1%	22.2%	64.1%
	中	42.4%	74.7%	46.2%	68.3%	55.1%	32.0%	61.5%
	大	50.3%	67.2%	56.1%	63.4%	51.0%	55.4%	61.1%
Q7興味深い内容		47.9%	70.5%	53.2%	70.9%	54.6%	51.8%	64.2%
	小	53.0%	70.7%	49.5%	84.7%	64.8%	11.1%	63.8%
	中	44.6%	75.9%	46.2%	72.0%	60.1%	32.0%	64.6%
	大	46.2%	69.9%	61.6%	69.1%	51.0%	54.3%	64.1%
Q8役立つ授業		49.0%	70.9%	59.2%	75.1%	58.1%	52.1%	67.1%
	小	55.8%	74.7%	64.6%	88.3%	72.7%	33.3%	69.8%
	中	39.9%	81.3%	50.0%	78.1%	60.1%	40.0%	68.3%
	大	55.9%	69.4%	65.2%	72.0%	55.3%	53.4%	66.2%

[履修規模別授業科目数（授業評価アンケート回答ベース）] 小 20 名以下 中 21～50 名以下 大 51 名以上

履修規模	国際学科	臨床心理学科	健康・スポーツ心理学科	子ども学科	経営学科	全学共通/複数学科	大学全体
小	41	29	30	34	34	1	169
中	17	8	24	58	28	1	136
大	5	30	8	30	26	9	108
総計	63	67	62	122	88	11	413

(注) アンケート対象外の 5 名以下の授業は、件数から除外されています。

－大学院－ 2025 年度後期 授業評価アンケートの集計結果報告

1. 調査目的 「東京成徳大学学生による授業評価実施規程」第 2 条による
2. 調査対象 東京成徳大学院が開講する授業科目（専任、非常勤教員）のうち同規程第 3 条に定めるもの
3. 調査対象者 上記調査対象科目を履修する学生
4. 調査方法 本学教務システム（UNIPA）を活用した、WEB アンケート形式
5. 実施期間 2025 年 12 月 22 日(月)～2026 年 1 月 20 日(火)
6. 回答結果 対象科目数：9 履修者総数：103 名 回答者数：45 名 回答率：43.7%（前年比 +5.69pt）
7. 質問別回答数

Q この授業について、以下の項目の内、あてはまるもの全てにチェックを入れてください。（複数回答）

項目名	肯定回答数 (のべ件数)	肯定回答率 (%)
① シラバスの内容に沿った授業が行われていた	42	93.3
② （教え方など）わかりやすい授業だった	42	93.3
③ 学生の授業参加（アクティブラーニング）を求める授業だった	35	77.8
④ 教員は学生の質問や疑問に対し、丁寧に対応していた	42	93.3
⑤ 課題の量と質は、適切だった	41	91.1
⑥ 授業の難易度が適切であった	43	95.6
⑦ 興味深い内容の授業だった	43	95.6
⑧ 学んだことは、今後の学習や活動に役立つ授業だった	43	95.6

※肯定回答率＝肯定回答数／回答者数

8. 自由記述

自由記述（全 21 件）を集計した結果、実技、デモ、現場の事例を通じた「体験的・実践的な学び」を評価する声が多数を占めている。自ら検査や面接を体験することで、座学以上の理解や職業観が得られたという意見があった。また、各専門領域の解説も高評価だった。一部の科目で、カリキュラムやレポート提出形式に関する要望も見られた。

[主な意見]

- 自分が何種類かの検査を受けることで、検査で明らかになること、ならないことを体感的に理解できました。毎回の過去問の時間も心理テストの体系的理解に助けになりました。
- 現場の話をたくさん聞かせていただき、毎回身が引き締まりました。講義を受けるごとに自分が目指したいカウンセラー像の輪郭ができてくるような感触がありました。

以上